



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月26日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
四半期報告書提出予定日 2024年5月1日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績 (2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	2,489	4.7	242	26.6	326	4.3	227	△2.8
2023年9月期第2四半期	2,377	8.0	191	47.8	313	11.9	233	19.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	162.71	—
2023年9月期第2四半期	167.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	18,785	9,304	49.5
2023年9月期	18,853	9,104	48.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 9,304百万円 2023年9月期 9,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期 (予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	0.3	450	△14.7	570	△23.5	390	△24.0	279.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	1,404,000株	2023年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	7,901株	2023年9月期	7,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	1,396,099株	2023年9月期2Q	1,396,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計上の見積りの変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、一部に足踏みが見られるものの緩やかに回復し、個人消費は持ち直し、企業収益も総じてみれば改善しました。一方で、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、保険事業、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では2,489百万円（前年同期比112百万円増）と前年同期比増収となりました。営業総利益につきましては、保険事業、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では548百万円（前年同期比48百万円増）と前年同期比増益となりました。一般管理費は306百万円（前年同期比2百万円減）と前年同期を下回り、営業利益は242百万円（前年同期比50百万円増）と前年同期比増益となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益84百万円（前年同期比37百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は326百万円（前年同期比13百万円増）、四半期純利益は227百万円（前年同期比6百万円減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

専門分野の強みを活かして、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進するとともに、リスクパートナーとしての総合提案力の深化や、継続的な成長を実現し得る組織・体制の強化に努めました。営業収益につきましては、損害保険分野は期日を迎える契約の更改が順調に進んだことを主因に前年同期を上回りましたが、生命保険分野は新たにいただいたご契約の減少を主因に前年同期を下回り、全体では551百万円（前年同期比17百万円減）となりました。営業原価は適正な経費コントロールにより前年同期を下回り、営業総利益は208百万円（前年同期比18百万円増）となりました。

②不動産事業

テナント様・入居者様に「安心安全」かつ「快適」な空間のご提供に努め、所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しました。2023年11月に取得したユーレジデンス西大井の賃料収入寄与もあり、営業収益は632百万円（前年同期比24百万円増）となりました。営業原価は物件取得に伴う経費増等を主因に前年同期を上回り、営業総利益は394百万円（前年同期比23百万円増）となりました。

③千本松牧場

各種メディアを通じた牧場プロモーションや団体のお客様の誘致に引き続き注力し、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回りました。施設内では、季節を感じていただける装飾や、毎年恒例のいちご園の開園、どうぶつふれあい広場の修繕等を行い、ご来場者様により「安心安全」に、一層お楽しみいただける牧場作りに努め、観光施設は前年同期比増収となりました。また2023年12月には、今期の最重要施策であるレストラン・売店棟のリニューアル工事に着手し、営業を継続しつつ、安全を第一に計画的に取り組んでおります。外販営業は地元量販店向けやソフトミックスの販売が伸長し、前年同期比増収となりました。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに減少しましたが、乳価改定により前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で968百万円（前年同期比111百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加や、施設のリニューアルに伴う費用計上等を主因に前年同期比増加し、営業総利益は11百万円（前年同期比22百万円改善）となりました。

④ゴルフ事業

SNSやメール配信システムを活用して引き続き積極的な情報発信に取り組むとともに、魅力ある冬季料金プランや宿泊プランのご案内、大学ゴルフ部の合宿誘致、首都圏を中心とする法人のお客様へのプロモーション等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、ご来場いただいた皆様により楽しく、快適にお過ごしいただけるよう、ハイレベルな研修導入による接客の一層の向上や、食事のレシピ改善等に注力いたしました。ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上につきましては、従来以上に充実したコース整備計画を立案し、本格的なシーズン入りを見据えて整備を進めました。

営業収益は、2024年3月の降雪・雨天の影響によるご来場者数の減少や、2022年10月に開催された国体関連の収益減少を主因に前年同期を下回り、337百万円（前年同期比6百万円減）となりました。営業原価はコース整備にかかる機器の更新や費用の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は64百万円（前年同期比16百万円悪化）となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,955	1,306,433
受取手形及び売掛金	360,657	332,918
商品及び製品	127,290	117,897
仕掛品	7,779	29,198
原材料及び貯蔵品	59,237	66,111
その他	100,323	104,941
貸倒引当金	△53	△124
流動資産合計	3,782,191	1,957,376
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,585,957	4,177,924
土地	8,226,987	9,294,904
その他（純額）	2,013,180	2,040,734
有形固定資産合計	13,826,125	15,513,564
無形固定資産	31,080	28,166
投資その他の資産		
その他	1,237,558	1,309,368
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,214,558	1,286,368
固定資産合計	15,071,764	16,828,098
資産合計	18,853,956	18,785,475
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,505	115,937
未払法人税等	131,215	81,661
短期借入金	—	170,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
引当金	112,090	61,523
その他	787,639	640,369
流動負債合計	1,240,450	1,169,491
固定負債		
長期預り保証金	5,622,916	5,469,309
長期借入金	2,600,000	2,550,000
引当金	106,930	86,332
資産除去債務	99,728	100,211
その他	79,306	105,946
固定負債合計	8,508,881	8,311,798
負債合計	9,749,331	9,481,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,977,171	4,120,570
自己株式	△19,452	△19,452
株主資本合計	8,825,320	8,968,720
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	279,303	335,463
評価・換算差額等合計	279,303	335,463
純資産合計	9,104,624	9,304,184
負債純資産合計	18,853,956	18,785,475

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業収益	2,377,398	2,489,779
営業原価	1,877,173	1,940,928
営業総利益	500,224	548,851
一般管理費	308,958	306,655
営業利益	191,266	242,196
営業外収益		
受取利息	18	9
受取配当金	7,753	6,791
会員権消却益	122,075	84,358
その他	17,019	19,014
営業外収益合計	146,867	110,174
営業外費用		
支払利息	14,855	14,627
乳牛除売却損	8,422	9,905
その他	1,620	1,246
営業外費用合計	24,898	25,778
経常利益	313,235	326,592
特別利益		
固定資産売却益	12,290	56
特別利益合計	12,290	56
特別損失		
固定資産除売却損	8,023	15,302
特別損失合計	8,023	15,302
税引前四半期純利益	317,501	311,345
法人税、住民税及び事業税	60,354	59,576
法人税等調整額	23,409	24,602
法人税等合計	83,764	84,179
四半期純利益	233,737	227,165

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

第1四半期会計期間において、千本松牧場のレストラン・売店棟のリニューアル計画を決定したことに伴い、新施設完成後に利用を終える固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ5,153千円減少しております。